

令和6年度

学生募集要項

〔 総合型選抜 〕



宮崎大学

宮崎大学の教育理念とアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

教育理念

宮崎大学は、「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもとに、人類の英知の結晶としての学術・文化に関する知的遺産の継承と発展、深奥なる学理の探究、地球環境の保全と学際的な生命科学の創造を目指し、変動する社会の多様な要請に応え得る人材を育成することを教育理念として掲げています。本学では、これらの理念を具現化するために、以下の教育目標を掲げ充実した教育に取り組んでいます。

1. 人間性の教育

高い倫理性と責任感を育むとともに、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養する。

2. 社会性・国際性の教育

地球規模の視野に立ち、社会の多様な要請に対応して、柔軟で論理的な思考力をもって、社会の発展に積極的に貢献できる社会性・国際性を涵養する。

3. 専門性の教育

新たな知の創造につながる専門教育を実施し、獲得した知識・技能を総合的に活用して、自ら発見した課題に適用し、解決する創造的思考力や態度を育成する。

アドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）

宮崎大学では、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）及びカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）に掲げた、社会の発展に積極的に貢献する人材の育成を目指しています。そのため、以下の「求める学生像」に示す、知識・技能、思考力、及び意欲を持った人を国内外から積極的に受け入れます。

【求める学生像】

1. 本学の教育理念に共感し、入学後の学修に充分対応できる基礎的な知識・技能を有する人
2. 身に付けた知識・技能を応用して問題を解決する上で必要となる思考力を有する人
3. 身に付けた知識・技能及び思考力を地域社会や国際社会において自ら積極的に活用し、その発展に貢献する意欲を持った人

【入学者選抜の基本方針】

1. 求める学生像に沿って、多様な入学者選抜方法により多面的・総合的に選抜する。
2. 客観的で透明性のある方法によって、公平に選抜する。

宮崎大学ではこのような教育理念を各学部、学科、課程において達成するために、それぞれアドミッション・ポリシー（入学者受入・選抜の方針）を掲げています。

したがって、本学に入学を希望する人は、基礎教育及び学部専門教育の内容や各学部、学科、課程のアドミッション・ポリシーを十分に理解した上で志願してください。

令和6年度 入学試験日程

学部・学科等	教育学部 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 (宮崎県教員希望枠) 中学校主免専攻 (音楽・美術・保健体育)	工学部 工学科 全プログラム	農学部 森林緑地環境科学科 海洋生物環境学科
インターネット出願登録期間	令和5年 9月19日(火)～27日(水)	令和5年 8月25日(金)～9月5日(火)	
出願期間 ※期間内必着	令和5年 9月25日(月)～ 9月27日(水) 17時まで	令和5年 9月1日(金)～5日(火) 17時まで	
受験票印刷可能日	令和5年 10月6日(金)以降	令和5年9月11日(月)以降	
試験日 (注)	【第1次選考】 【小学校主免専攻】 書類選考 【中学校主免専攻】 令和5年 10月21日(土)、22日(日) 【第2次選考】 令和5年 11月25日(土)、26日(日)	【第1次選考】 書類選考 【第2次選考】 令和5年 9月26日(火)、27日(水)	【第1次選考】 書類選考 【第2次選考】 令和5年 10月9日(月)、10日(火)
合格者発表	【第1次選考】 令和5年11月1日(水) 【第2次選考】 令和5年12月8日(金)	【第1次選考】 令和5年9月15日(金) 【第2次選考】 令和5年11月1日(水)	
入学手続期間	令和6年2月19日(月) 17時まで(必着) ※原則郵送		

(注) 教育学部及び工学部の試験は、志願者数によっては1日で終了する場合があります。

自然災害や感染症の感染拡大等により、出願期間、試験日、選抜方法等について変更することがあります。
変更することを決定した場合は、直ちに本学ホームページ上でお知らせしますので、本学からの発表にご留意ください。

目 次

1. 学部のアドミッション・ポリシー	1
2. 募集人員等	7
3. 出願資格	7
4. 出願手続	8
5. 受験票の印刷	14
6. 選抜方法等	14
7. 受験上の注意事項	25
8. 不正行為について	26
9. 合格者発表	28
10. 他の選抜への出願等について	28
11. 入学手続等	29
12. 入学手続に関する注意事項	32
13. 個人情報の取扱いについて	32
14. 入学試験成績の情報開示	33
15. 統計資料	34
16. 試験場配置図	35

※学生寄宿舍への入居を希望する者は「11. 入学手続等 (13) 学生寄宿舍への入居」をよく読んでください。

1. 学部のアドミッション・ポリシー

(1) 教育学部

学校教育課程 小中一貫教育コース

小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身に付けた教員の養成を目標としています。

1. 求める学生像

小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校等の教員を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしか知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)、児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらを高めるべく努力を怠らない人材を求めています。

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法		求める能力や適性等				
		知識・技能	思考力	表現力	教職への意欲	協調性
前期日程	共通テスト	◎	○			
	個別学力検査	◎	◎	◎		
	面接	○	◎	◎	◎	○
後期日程	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
学校推薦型選抜 (小学校主免専攻) (宮崎県教員希望枠)	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
学校推薦型選抜 (中学校主免専攻)	共通テスト	◎	○			
	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○	○	○	◎	
総合型選抜 (小学校主免専攻) (宮崎県教員希望枠)	小論文	○	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	口頭試問	◎	◎	◎		○
	提出書類	○	○	○	◎	

総合型選抜 (中学校主免専攻： 音楽・美術・保健体育)	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	◎	◎	◎	◎	○
	各教科の定める 個別審査	◎	◎	◎		
	提出書類	○	○	○	◎	
帰国生徒選抜	小論文	◎	◎	◎	○	
	面接	○	◎	◎	◎	○
	提出書類	○				

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの教科に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。

(2) 工学部

工学科

1. 求める学生像

工学部では、宮崎県唯一の工学系学部として、「宮崎に根ざし世界に目を向けた工学部」を目標に、人間性が豊かで、コミュニケーション能力が高く、確実な基礎学力と幅広い応用能力を身に付け、21世紀の高度な科学技術分野や最先端技術分野で活躍できるような、問題発見・解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。そこで、以下に示す「入学後の学修に必要な能力・適性」を多面的かつ総合的な評価手法によって選考し、受け入れます。

- 1) 工学技術者を目指し、地域社会や国際社会の発展に貢献する意欲がある人（主体性）
- 2) 自ら考え、主体的に学修する目的意識を有する人（主体性）
- 3) 大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な協調性及びコミュニケーションの基本的なスキルを身に付けた人（協働性、表現力）
- 4) 工学における多様な分野にも興味を持ち、創造性豊かな技術力と問題発見・解決能力を身に付けて社会に貢献する意欲のある人（学問への関心、思考力）
- 5) 工学専門分野を修得できる基礎学力を有する人（知識・理解、思考力）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
総合型選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

求める能力や適性等		知識・技能	思考力 表現力	主体性 協調性 学問への関心
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
	個別学力検査	○	◎	
	主体性評価			◎
総合型選抜	筆記試験	◎		
	小論文		◎	○
	面接	○	○	◎
	提出書類	○	○	◎
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○	
	小論文	○	◎	
	面接	○	○	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれる。

(3) 農学部

森林緑地環境科学科

1. 求める学生像

森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、森林緑地環境科学科では次のような人材を求めています。

- 1) 森林・緑地の諸問題の解決に向けて熱意を持って自ら取り組む人（主体性）
- 2) 森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味と探求心を有する人（学問への関心）
- 3) 環境問題をはじめ、世の中の様々な事柄をよく観察して深く考察し、その結果を表現する力を有する人（思考力、表現力）
- 4) 大学での学修の基盤となる幅広い知識や言語力、森林・緑地に関する基礎学力を有する人（知識・理解）
- 5) 様々な活動において他者と協力しながら課題解決を図るとともに、自らの能力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を有する人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法	求める能力や適性等	知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○		
	個別学力検査	○	◎		
	主体性評価			◎	◎
学校推薦型選抜	面接	○	○	◎	○
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜	面接	○	◎	○	○
	模擬講義の受講 及びレポート作成		◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	

私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

理科、数学、英語以外にも、国語や社会など、高校で履修する教科・科目について偏りなく勉強しておく必要があります。また、大学での学修効果を高め、充実した学生生活を送るために、自ら興味を深め課題を発見する姿勢や、多様な意見を聞きながら多くの人と協力して課題解決をはかる態度も、あわせて身に付けておくことを望みます。

海洋生物環境学科

1. 求める学生像

海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力・解決能力、特に海洋環境学分野における課題解決能力を重視し、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を海洋環境学分野の技術者として社会に還元することのできる人材の育成を目標としています。更に地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。

そこで、海洋生物環境学科では次のような人材を求めています。

- 1) 海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味を有している人（学問への関心）
- 2) 海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組むことができる人（主体性）
- 3) 実験や観察において深く考察し、その結果を表現する力がある人（思考力、表現力）
- 4) 大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力を有する人（知識・理解）
- 5) 学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる人（協働性）

2. 入学者選抜の基本方針

選抜区分	目的と概要
一般選抜	入学の機会を広く保障するために、大学受験資格を有する全ての者を対象とし、「前期日程」と「後期日程」の選抜区分により、入学者を選考します。
学校推薦型選抜 総合型選抜 帰国生徒選抜 社会人選抜	一般選抜では評価が難しい多様な能力や資質を有し、意欲的かつ本学部への志望動機が明確な入学希望者を対象とし、入学者を選考します。
私費外国人留学生入試	外国人留学生に対する入学の機会を保障するために、私費外国人留学生を対象とし、入学者を選考します。

3. 選抜方法について（求める能力や適性等の評価方法とその比重（◎：特に大きい比重、○：大きい比重））

選抜方法	求める能力や適性等	知識・技能	思考力 表現力	学問への関心	主体性 協働性
	前期日程・後期日程	共通テスト	◎	○	
個別学力検査		○	◎		
主体性評価				◎	◎

学校推薦型選抜	面接	○	○	◎	○
	提出書類	○	○	◎	○
総合型選抜	面接	○	○	◎	○
	模擬講義の受講 及びレポート作成		◎	○	
	提出書類	○	○	◎	○
帰国生徒選抜	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎
	提出書類	○		○	
社会人選抜	面接	○	◎	◎	◎
	提出書類	○		○	
私費外国人留学生入試	日本留学試験	◎	○		
	小論文		◎	◎	○
	面接	○	○	◎	◎

4. 入学までに身に付けてほしいこと

高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、海洋環境、海洋生物生産・増殖などの自然科学については、本を読むなどして知識を深めてください。また、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために、主体性、協働性、表現力などもあわせて身に付けておくことを望みます。

2. 募集人員等

学 部	学科・課程	コース・プログラム等		選択できる 教科	募集人員
教 育 学 部	学校教育課程	小中一貫 教育コース	小学校主免専攻	(注1)	5
			中学校主免専攻	音楽	8 (注2)
				美術	
	小 計				13
工 学 部	工 学 科 (注3)	応用物質化学プログラム			6
		土木環境工学プログラム			7
		応用物理工学プログラム			5
		電気電子工学プログラム			5
		機械知能工学プログラム			8
		情報通信工学プログラム			9
小 計				40	
農 学 部	森林緑地環境科学科				3
	海洋生物環境学科				2
	小 計				5
合 計					58

(注1) 専修(教科)は本人の希望に基づき、入学後に決定します。

(注2) 募集人員は選択できる3教科全体で8人ですが、原則として「音楽」2人、「美術」2人、「保健体育」4人とします。

(注3) 工学部工学科のプログラム配属について

合格者は、入学時に合格したプログラムへ仮配属(各プログラムとリンクする系に配属)されます。

1年次の授業で各プログラムについて理解を深め、2年次から各プログラムへ本配属されます。基本的には仮配属のプログラムへ本配属されますが、1年次の成績が上位かつ受入定員内であれば、再度プログラムの希望を出し、仮配属と異なるプログラムへ本配属も可能です。

ただし、総合型選抜では、志望動機が明確な入学希望者を対象としているため、入学から卒業までプログラムの変更は原則できません。

3. 出願資格

学部別の出願資格は次のとおりです。

また、高等学校には中等教育学校、特別支援学校の高等部、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を含みます。

教育学部

○学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻(宮崎県教員希望枠)

- (1) 高等学校を令和4年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 小学校教育に対する熱意を有する者
- (3) 卒業後は、宮崎県の小学校教員となることを希望している者
- (4) 合格した場合は入学することを確約できる者

○学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻

- (1) 次のア.～ウ. のいずれかに該当する者
 - ア. 高等学校を令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
 - ウ. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (2) 中学校及び小学校教育に対する熱意を有する者
- (3) 選択した教科の教育に対する熱意を有する者
- (4) 合格した場合は入学することを確約できる者
- (5) 入学後は、出願時に選択した教科を専修とすることを確約できる者

工 学 部

- (1) 高等学校を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者
 - (2) 志望プログラムに対する熱意を有する者^{【注】}
 - (3) 合格した場合は入学することを確約できる者
- 【注】入学から卒業までプログラムの変更は原則できません。

農 学 部

○森林緑地環境科学科

- (1) 高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者
- (2) 志望学科の教育研究内容に対する熱意を有する者
- (3) 合格した場合は入学することを確約できる者

○海洋生物環境学科

- (1) 高等学校の普通科（あるいはこれに準ずる学科）を令和5年4月から令和6年3月までに卒業又は卒業見込みの者
- (2) 志望学科の教育研究内容に対する熱意を有する者
- (3) 合格した場合は入学することを確約できる者

4. 出願手続

入学を志願する者は、次の(1)～(5)により、手続を行ってください。出願の流れ(12ページ)も参照してください。

インターネット出願登録後、入学検定料を支払い、(2)の提出書類を郵送することで、出願完了となります。(5)の受付期間内に提出書類の提出がない場合、出願未完了(登録データは無効)となりますので、注意してください。

(1) インターネットを利用した出願情報の登録及び入学検定料の支払い

- ① インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料17,000円(別途、サービス手数料900円)の支払い(以下「インターネット出願登録」という。)が必要です。
※個人成績開示を希望する場合は、開示手数料800円を入学検定料と併せてお支払いください。

<インターネット出願登録サイト>

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>

- ② インターネット環境以外で事前準備が必要となる主な事項は、次のとおりです。
 - ア. 入学検定料の支払い方法を確認してください。コンビニエンスストア、銀行、ATM、クレジットカード及びネットバンキングのいずれかで支払い可能です。
 - イ. 電子メールアドレスが必要です。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。(この電子メールアドレス宛に、出願情報登録完了等の確認メールを配信します。インターネット出願登録サイトからのメールは、「no-reply@52school.com」から送信されますので、受信できるように予め設定等を確認してください。)

- ウ. 受験票及び写真票に使用する写真データが必要です。上半身脱帽正面向き無背景で、直近3か月以内に撮影した100KB～5MBサイズの jpg 又は png データをアップロードしてください。
- エ. A4サイズの内紙が印刷できるプリンタ（モノクロ、カラーどちらでも可）が必要です。印刷用紙は普通紙で構いません。（出願情報の登録内容を印刷する必要があります。）
- オ. 「（2）提出書類」の「② 出願者が準備する必要提出書類」を用意してください。書類の内容によっては、準備に時間を要するものがあります。

- ③ 自宅や在籍する学校・予備校等に、インターネット出願登録ができる環境が整っていない場合は、事前に、宮崎大学学び・学生支援機構入試課（0985-58-7138）まで相談してください。

※ インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、上記「インターネット出願登録サイト」をご覧ください。志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。
志願受付操作サポート窓口：0120-752-257（出願登録期間の9:00～20:00）

（2）提出書類

インターネット出願登録完了後、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に次の①及び②の書類等を入れて提出してください。

- ① インターネット出願登録サイトから登録・印刷（A4サイズで印刷）

提出書類	摘 要
出願確認票（提出用）	インターネット出願登録及び入学検定料支払い後、印刷したもの。 ※「提出用」の出願確認票を提出してください。「確認用」の出願確認票ではありませんので、注意してください。
宛名ラベル	角形2号封筒の表面に宛名ラベルを貼り付けて、その封筒の中に提出書類を全て封入のうえ、提出してください。

- ② 出願者が準備する必要提出書類（提出書類の記入は、黒ボールペン又は黒ペンを使用してください。）
本学所定の様式は本学ホームページからダウンロードしてください。

URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/recommen/sogo.html>

提出書類	摘 要
調査書	文部科学省で定めた様式により出身学校長が作成し厳封したもの。 ※以下、教育学部のみ該当 出身高等学校等において指導要録が保存年限を超え、調査書を発行できない場合には、 その旨を記した証明書、単位修得証明書及び卒業証明書 の3つの提出をもって、これに代えることができます。 高等学校卒業程度認定試験等に合格した者は、当該試験の 合格成績証明書 をもって代えることができます。ただし、 高等学校等での取得単位を有する場合は当該高等学校等の成績証明書 を添付してください。
自己推薦書	本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。
志望理由書 【教育学部】	本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。
課題探究型学習に関する調書 【教育学部小学校主免専攻】	本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。
プレゼンテーション資料 【教育学部小学校主免専攻】	上記に関するプレゼンテーション資料。A4サイズ。片面印刷。3ページ以内。縦型・横型、モノクロ・カラーいずれも可。作成にはパソコン等の使用可。

実技・活動等に関する調書 【教育学部中学校主免専攻】	本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。
伴奏譜又は楽譜 【教育学部中学校主免専攻】	音楽を志望する者は、「6. 選抜方法等」（15ページ）で詳細を確認してください。
活動報告書 【工学部及び農学部】	本学所定の様式（A4サイズ・1枚）に、本人自筆で記入してください。記入の際は「6. 選抜方法等」（工学部：18、19ページ、農学部：21ページ）をよく読んで記入してください。
根拠資料 【工学部及び農学部】	上記の活動報告書に記載した事項について、根拠資料の写し（A4サイズ）あるいはそれに代わる資料を提出してください。

調査書の記載についての注意事項（出身高等学校長の皆様へ）

- ① 「2. 各教科・科目等の学習の記録」欄の「修得単位数の計」は必ず記入してください。また、第3学年における「評定」欄を記載できない場合は、その理由を付してください。
- ② 学習成績概評A段階に属する生徒のうち、人物、学力ともに特に優秀で、「4. 学習成績概評」欄に④と標示した場合には、「8. 備考」の欄にその理由を明示してください。
- ③ 「校長名」及び「記載責任者職氏名」は必ず明記し、押印（写しは不可）してください。

(3) 提出方法

インターネット出願登録及び入学検定料支払い後にインターネット出願登録サイトから宛名ラベルを印刷してください。市販の角形2号封筒（240mm×332mm）にそれを貼り付け、(2)の提出書類を全て入れ、郵送（一般書留・速達）又は持参してください。

(4) 提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学 学び・学生支援機構入試課（事務局棟1階）
電 話：0985-58-7138
FAX：0985-58-2865

(5) 提出書類（出願書類）の受付期間等

- | | |
|--------------|--------------------------|
| I. 教育学部 | — 令和5年9月25日（月）～ 9月27日（水） |
| II. 工学部及び農学部 | — 令和5年9月 1日（金）～ 9月 5日（火） |

- ① 提出は原則、郵送してください。ただし、出願期間の平日9時から17時までは持参可能です。
- ② 郵送の場合は必ず一般書留・速達とし、入試課へ期間内必着（17時必着）です。ただし、一般書留・速達でない場合は期間内消印であっても受け付けません。期間内に到着しない場合は受理しませんので郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。

※ インターネット出願登録期間については以下のとおりで、事前に登録可能です。

- | | |
|--------------|--------------------------|
| I. 教育学部 | — 令和5年9月19日（火）～ 9月27日（水） |
| II. 工学部及び農学部 | — 令和5年8月25日（金）～ 9月 5日（火） |

なお、インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、上記の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。

(6) 注意事項

- 1) インターネット出願登録サイトにおいて出願登録を完了した後は、志望学部、志望学科・課程（コース・専攻）、教科等の変更はできません。（それ以前であれば、インターネット出願登録サイトから変更できます。）
- 2) 提出書類に不備がある場合には受理しないことがありますので十分注意してください。
- 3) 受付後の提出書類等は返還しません。
- 4) 出願手続及び入学手続において不正な行為があった場合は、入学を取り消すことがあります。
- 5) 教育学部学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻、工学部及び農学部において、第1次選考の不合格者に対しては入学検定料のうち13,000円を返還します。
- 6) **既納の検定料及び個人成績開示請求手数料は、以下の場合を除き、返還いたしません。**
 - ①. **提出書類を郵送又は持参しなかった場合**
※インターネット出願登録だけでは、出願手続きは完了しません。その後、入学検定料を支払い、(3)の受付期間内に(2)の提出書類を全て郵送又は持参することで完了します。
 - ②. **提出書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により出願が受理されなかった場合**
 - ③. **誤って二重に支払った場合**

返還請求の方法

検定料返還請求願（様式は問いません。氏名（フリガナ）、入試区分、個人成績開示請求の有無、返還請求理由、現住所、電話番号、返還先銀行口座情報（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ））を明記したもの）を作成し、以下へ令和6年3月31日（必着）までに、速やかに郵送してください。なお返還にかかる手数料は、原則、志願者本人の負担とします。また、令和6年4月1日以降に申し出られた場合、返還に應じることはできませんのでご了承ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係
電話：0985-58-7122（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

出願の流れ

1 募集要項の確認

本学ホームページから「募集要項」をダウンロードし、自分が受験する学部・学科・課程の出願資格、出願期間、必要書類、試験日、受験科目等を確認します。

募集要項掲載URL

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/>



2 出願情報の入力

インターネットに接続しているパソコンから、画面の指示に従って以下の内容を入力します。

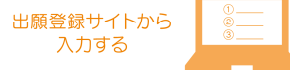
●入力内容

◎入試区分の選択◎志望学部・学科・課程、受験科目等の選択

◎個人情報の入力

インターネット出願登録サイト

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/department-exam/Internet-apply.html>



4 出願情報の登録

3で出願情報に修正がなければ、登録をします。

※登録後は出願情報の変更はできませんので、3で修正がないかよく確認してください。



3 出願情報の確認・修正

入力した出願情報を確認します。確認用の紙を印刷できますので、学校の先生や保護者の方が確認する場合も簡単です。



5 検定料支払い方法の選択

検定料の支払い方法を選択します。

●支払い方法

◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア

◎銀行ATM(ペイジー)◎ネットバンキング



6 検定料のお支払い

選択した支払い方法に従って検定料を支払います。



8 出願確認票等の印刷

出願確認票等を印刷します。



7 写真データの登録

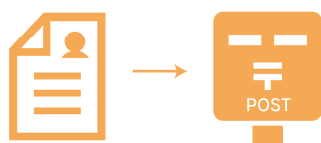
インターネット出願システムの「申し込み一覧」より写真データを登録します。



9 提出書類の郵送

出願確認票(8で印刷したもの)、調査書等提出が必要な書類を宮崎大学へ郵送し、出願完了です。

提出書類を郵送する



10 受験票の印刷

募集要項に記載している期日以降に、インターネット出願システムの「申し込み一覧」から受験票の印刷が可能となります。

A4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

受験票を印刷する



インターネット出願システムの操作・登録方法等の詳細については、志願受付操作サポート窓口までお問い合わせください。
志願受付操作サポート窓口:0120-752-257(出願登録期間の9:00~20:00)

(7) 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、出願書類提出前に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へご相談ください。相談内容によっては本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早急にご相談ください。

次表に相談例を示しますので参考にしてください。ただし、この相談例に限定するものではありません。

①相談期限

相談期限は、下記のとおりです。

教育学部 …… 令和5年8月25日(金)

工学部 及び 農学部 …… 令和5年8月1日(火)

出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合については、早急に宮崎大学学び・学生支援機構入試課へ連絡してください。

②相談方法

宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして、次の内容を記載し、医師の診断書等を添えて提出してください。(郵送可)

ア 志願者氏名・志望学部・学科・課程・プログラム

イ 障がい等の種類・程度

ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項

エ 出身学校でとられていた配慮事項

オ 日常生活の状況

カ 住所及び連絡先の電話番号

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。

※相談申請書ダウンロード先：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/1789-2.html>

③相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話：0985-58-7138
FAX：0985-58-2865
(土曜日・日曜日及び祝日を除く)

相談例	
①視覚障がい	拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は困難なもの
②聴覚障がい	補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は困難なもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由により、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難なもの 2. 肢体不自由により、常時の医学的観察指導を必要とするもの
④病弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患により、医療又は生活規制を必要とするもの 2. 身体虚弱により、生活規制を必要とするもの
⑤発達障がい	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等のため配慮を必要とするもの
⑥その他	①～⑤以外の者で配慮を必要とするもの

5. 受験票の印刷

以下の期日以降に、インターネット出願システムの「申込確認」から受験票の印刷が可能となります。
A4用紙に印刷し、受験時に必ず持参してください。

- I. 教育学部 — 令和5年10月6日（金）
- II. 工学部 及び 農学部 — 令和5年9月11日（月）

6. 選抜方法等

（1）各学部の選抜方法

教育学部

I. 選抜方法

◎学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻（宮崎県教員希望枠）

【第1次選考】

書類審査（出願書類：調査書、自己推薦書、志望理由書、課題探究型学習に関する調書、プレゼンテーション資料）により選抜します。

【第2次選考】

小論文、面接、課題探究型学習に関する口頭試問（プレゼンテーションを含む。）及び第1次選考の結果を総合して選抜します。

◎学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻

【第1次選考】

書類審査・面接①（出願書類：自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書）、各教科の定める個別審査により選抜します。なお、第2次選考に向けて課題を課す場合があります。

※第1次選考時に選考の流れ及び第2次選考に向けての心構え等を説明するガイダンスを行います。

【第2次選考】

面接②、小論文及び第1次選考の結果を総合して選抜します。

なお、第1次選考時に課した課題は面接②の基礎資料とします。

II. 選考方法

◎学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻（宮崎県教員希望枠）

【第1次選考】

書類審査：複数の教員で書類審査を行い、高等学校における学習状況（特に課題探究型学習）、小学校教育及び中学校教育（特に宮崎県における教育）に関わる関心及び適性等をみます。

【第2次選考】

- 1) 小論文：解答時間は50分とします。英文読解を含む場合があります。書籍の英和辞書の持込みを可とします。
- 2) 面接：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、小学校教育及び中学校教育に関わる関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。
- 3) 課題探究型学習に関する口頭試問：
出願時に提出したプレゼンテーション資料を用いた口頭発表を課します。発表時間は5分以内とします。発表に引き続き、質疑応答を行います。

◎学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（音楽）

【第1次選考】

1) 教科の定める個別審査（実技）：次の1. 及び2. をどちらも演奏する。

1. ピアノ 次の練習曲集から任意の1曲（暗譜。繰り返し省略）。

C. Czerny 40番 練習曲集 op. 299

C. Czerny 50番 練習曲集 op. 740

F. Chopin 練習曲集 op. 10、op. 25（ただしop. 10-6、op. 25-7を除く）

2. 声楽又は管弦打楽器

声楽を選択する場合は、次の3曲から任意の1曲（暗譜の必要はない）。

Concone 50番 op. 9より 12番、36番、42番

※ 中声用又は低声用のいずれかを出願時に選択すること。母音唱、階名唱、音名唱のいずれも可とする。伴奏者及び伴奏譜（全音楽譜出版社）は本学で用意する。

管弦打楽器を選択する場合は、任意の練習曲（暗譜の必要はない。繰り返し省略）。

※ 楽器は試験当日に持参できるものに限る。出願時に楽譜を同封すること。

2) 面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、音楽科教育への関心及び教員としての適性等をみます。また、質問内容には音楽に関する基礎的知識（楽典等）を含みます。面接時間は15分程度とします。

【第2次選考】

1) 小論文：小論文は小論文①と小論文②の2回に分けて行い、解答時間はそれぞれ小論文①50分、小論文②90分とします。小論文①については英文読解を含む場合があります。書籍の英和辞書の持込みを可とします。

2) 面接②：複数の教員で個人面接を行い、音楽科教員としての適性等をみます。次の1. 2. 3. よりいずれかを選択して演奏した後、演奏した楽曲や、自身の演奏等についての質問に答えます。面接時間は1人20分程度（演奏を含む）とします。

1. ピアノ J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethoven のソナタの中から、緩徐楽章及び変奏曲楽章を除く任意の1つの楽章（暗譜。繰り返し省略）

2. 声楽 イタリア語又はドイツ語の歌詞による任意の1曲（原語。暗譜）

※ 原則として、原調で演奏すること。ただし、出版されている移調楽譜の使用も可とする。伴奏者は本学が用意する。伴奏譜については、出願時に同封すること。

3. 管弦打楽器 任意の1曲（暗譜。繰り返し省略）

※ 楽器は試験当日に持参できるものに限る。ソナタ又は協奏曲の場合は1つの楽章。練習曲も可とするが、第1次選考と同一曲は不可。当日伴奏無し。出願時に楽譜を同封すること。

◎学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（美術）

【第1次選考】

1) 教科の定める個別審査（実技）：

「鉛筆デッサン」（モチーフの一部として使用する紙工作を含む（注））を行い、構成力・描写力・表現力をみます。

（注）モチーフ作りの詳細については、当日ガイダンスにて説明します。

2) 面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、美術科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

【第2次選考】

1) 小論文：小論文は小論文①と小論文②の2回に分けて行い、解答時間はそれぞれ小論文①50分、小論文②90分とします。小論文①については英文読解を含む場合があります。書籍の英和辞書の持込みを可とします。

2) 面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、美術科教育に関わる関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

◎学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻（保健体育）

【第1次選考】

- 1) 教科の定める個別審査（実技）：
「陸上競技」、「器械運動」、「サッカー」、「バスケットボール」、「ハンドボール」、「バレーボール」、「柔道」の中から、当日こちらが指定した4～6種目を行い、中学校教員に必要な基礎的運動能力をみます。
（注）実技内容の詳細については、当日ガイダンスにて説明します。
- 2) 面接①：複数の教員で面接（集団又は個人）を行い、書類審査を含み、中学校及び小学校教育、保健体育科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は15分程度とします。

【第2次選考】

- 1) 小論文：小論文は小論文①と小論文②の2回に分けて行い、解答時間はそれぞれ小論文①50分、小論文②90分とします。小論文①については英文読解を含む場合があります。書籍の英和辞書の持込みを可とします。
- 2) 面接②：複数の教員で個人面接を行い、中学校及び小学校教育、保健体育科教育への関心及び適性等をみます。面接時間は1人20分程度とします。

※ 第1次選考における「教科の定める個別審査（実技）」については、感染症対策を充分に行った上で実施します。

Ⅲ. 選考日時、試験場及び携行品等

【第1次選考】（学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻のみ）

- ア. 選考日時 令和5年10月21日（土）、22日（日） 午前9時から
 ※すべての試験時間は、進行の都合によっては開始時刻等を変更することがあります。また、志願者数によっては、1日で終了することもあります。詳しくは、受験案内を受験票ダウンロード時に併せて、インターネット出願システムの「申し込み一覧」へ掲載しますので、そちらを必ず確認してください。
 「各教科の定める個別審査」は、「個別審査」と略記しています。

試験日	教科	試験時間等								
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
10月21日 （土）	音楽	ガイダンス 9:00~	個別審査（実技） ガイダンス終了後				面接① 個別審査終了後			
	美術	ガイダンス 9:00~	個別審査（実技） 10:00~12:00		個別審査（実技） 13:00~15:00		面接① 15:30~			
	保健体育	ガイダンス 9:00~	個別審査（実技） ガイダンス終了後				面接① 個別審査終了後			
10月22日 （日）	音楽 美術 保健体育	面接① 9:00~								

- イ. 試験場 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL：0985-58-2891
- ウ. 集合時刻 午前8時30分

- エ. 携 行 品
- ①宮崎大学入学試験受験票〔総合型選抜〕
 - ②筆記用具
 - ③各教科の定める個別審査に要する道具
 - 音 楽：声楽、管弦打楽器用楽譜（必要とする者のみ）、楽器（管弦打楽器を選択した者のみ）
 - 美 術：鉛筆デッサン用具、はさみ、のり、定規（30cm程度）
 - 保健体育：運動のできる服装、体育館シューズ、屋外シューズ（スパイクは除く） ※柔道着は不要です。

【第2次選考】

- ア. 選 考 日 時
- 令和5年11月25日（土）、26日（日）
※志願者数によっては、1日で終了することもあります。
詳しくは、第1次選考結果通知の際にお知らせします。
- イ. 試 験 場
- 宮崎大学教育学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 Tel：0985-58-2891
- ウ. 携 行 品
- ①宮崎大学入学試験受験票〔総合型選抜〕
 - ②筆記用具
 - ③第1次選考時に課された課題（課されている場合のみ）
 - ④その他
 - ・中学校主免専攻・音楽志望者：面接②で使用する楽器
（管弦打楽器を選択した場合のみ）
 - ・小論文は英文読解を含む場合があるため、書籍の英和辞書の試験場持込みは可とします。

工 学 部

I. 選抜方法等

【第1次選考】

調査書、自己推薦書及び活動報告書により選考を行います。

調査書及び自己推薦書では、高等学校等での学習及び出席状況や、今後の目標、本学入学後の勉学意欲などについて見ます。

活動報告書については、以下の表で志願する各プログラムの記載事項を確認して、作成してください。

また、その活動に関わる根拠資料があれば、その写し（A4サイズ）あるいはそれに代わる資料を追加資料として提出してください。

プログラム	記 載 事 項
応用物質化学	学業、課外活動、チャレンジなどの諸活動とそのアプローチを評価します。そこで、活動報告書では、特に力を入れた活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。 なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。
土木環境工学	学業、課外活動、チャレンジなどの主体的活動とそのアプローチを評価します。活動報告書には、まず、それらの主体的活動を箇条書きで列挙してください。次にその中で特に力を入れた活動を選び、具体的な内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。 （主体的活動には例えば以下に示す資格等の取得も含まれます。ただし、資格の種類はこれらに限定しません。また、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定せず自己PRになると考えるものを積極的に挙げてください。） 資格例：数学検定2級、測量士補、英語外部試験（英語検定、TOEIC、GTEC等）
応用物理工学	課題研究、課外活動、生徒会活動、卒業制作、ボランティア活動などがあれば、その中で自主的に行った諸活動の状況や、英語外部試験（英語検定、TOEIC、GTECなど）、各種資格の取得にむけた主体的な活動や、各種表彰などの実績をもとに評価しますので、これらについて具体的に記述してください。 なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。
電気電子工学	学業、英語外部試験（英語検定、TOEIC、GTECなど）、課外活動、などの諸活動とそのアプローチを評価します。そこで、活動報告書では、特に力を入れた活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。 なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。
機械知能工学	学業、課外活動、チャレンジなどの諸活動とそのアプローチを評価します。そこで、活動報告書では、特に力を入れた活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。 なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。

プログラム	記 載 事 項
情報通信工学	<p>自分のアイデアを実現しようとした経験、あるいは、自らの意志で自主的に活動した経験及びそれらの経験を伝える表現力を重視し評価します。そこで、活動報告書では、特に力を入れた活動を選び、活動内容、その中で直面した問題を解決に導いた過程と創意工夫、得られた成果について記述してください。例えば、自作ソフトウェアについて記述する場合は、開発した動機、ソフトウェアの機能、システムの構成、考察など、その内容を具体的に記述してください。</p> <p>なお、資格取得、表彰、大会・イベント参加などの活動に限定する必要はありません。説明には、A4版片面5ページ以内で追加資料を、10ページに記載の根拠資料とは別に、つけることができます（様式は自由）。</p>

【第2次選考】

第1次選考に合格した者に対して、個人面接を行うとともにプログラムにおいて、筆記試験又は筆記試験と小論文の両方を課します。個人面接は提出書類も参考にして、志望するプログラムの「求める学生像」に基づいて、それに関わる分野への知識・理解、思考力、表現力、主体性、協働性、学問への関心を見ます。また、プログラムによっては志望するプログラムで必要となる高等学校等で学習した内容に関する基礎的な学力及び科学的思考能力を判定する口頭試問を含みます。

各プログラムの試験実施方法等は次のとおりです。

プログラム	教科・科目及び実施方法等
応用物質化学	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 • 小論文（60分） 当日提示する課題について800字以内で論述させます。 • 個人面接（1人当たり20分程度）（口頭試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 口頭試問では、化学及び英語について問います。 面接では、自己推薦書、調査書、活動報告書及び小論文の内容を基に質問します。
土木環境工学	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 • 個人面接（1人当たり10分～15分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。
応用物理工学	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 • 個人面接（1人当たり20分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。
電気電子工学	<ul style="list-style-type: none"> • 筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 • 小論文（60分） 当日提示する課題について800字以内で論述させます。 • 個人面接（1人当たり15分～20分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。

プログラム	教科・科目及び実施方法等
機械知能工学	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 ・個人面接（1人当たり15分～20分程度）（口頭試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 口頭試問では、物理について問います。
情報通信工学	<ul style="list-style-type: none"> ・筆記試験（60分） 数学を課し、数学Ⅰ及び数学Ⅱを出題範囲とします。 ・個人面接（1人当たり20分～30分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 活動報告書について5分程度のプレゼンテーションを含みます（注）。

（注）情報通信工学プログラムのプレゼンテーションの実施方法等の詳細は以下のとおりです。

- ・ 活動報告書で複数の項目を挙げている場合は、1つの主題にしぼってください。
- ・ プレゼンテーションは、ノートパソコンのプレゼンテーションソフト（パワーポイントなど）か、ポスター（最大A0サイズ）で行なってください。タブレット端末は使用できません。
- ・ 資料の配布はできません。
- ・ ノートパソコンを用いたプレゼンテーションに必要なスクリーンとプロジェクタ、ポスターを掲示するためのボードとマグネットはこちらで準備しますが、ノートパソコンかポスターを必ず持参してください。
- ・ ノートパソコンとプロジェクタを接続するケーブルはこちらで用意しますが、プロジェクタの接続端子はVGA（D-Sub 15ピン）又はHDMIですので、必要な変換コネクタは持参してください。
- ・ 作品の紹介を行う場合、動画や写真などにして、プレゼンテーションやポスターに含めてください。
- ・ 試験中は持参したノートパソコンのインターネットへの接続はできません。

Ⅱ. 選考日時、試験場及び携行品等

【第1次選考】 各プログラムとも書類選考のみのため、試験は実施しません。

【第2次選考】

- ア. 選考日時 令和5年9月26日（火）、27日（水） 午前9時から
※志願者数によっては、1日で終了することもあります。
詳しくは、第1次選考結果通知の際にお知らせします。
- イ. 試験場 宮崎大学工学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 TEL：0985-58-2874
- ウ. 集合時刻 午前8時30分
- エ. 携行品 ①宮崎大学入学試験受験票（総合型選抜）
②筆記用具
③各プログラムで指定された物品

I. 選抜方法等

【第1次選考】

調査書、自己推薦書、活動報告書（根拠資料を添付）により選考を行います。

調査書では、高等学校での学習状況や生活状況を評価します。

自己推薦書では、志望動機の適正さ、自分の強みを活かして将来の目標を達成しようとする意欲などを評価します。

活動報告書では、下表の5つの実績を基に評価します。特に志望する学科に関連する事項を重視します。

●活動報告書の記載事項

①関連学部・学科（他大学含む）が開催した公開講座・実習等への参加経験
②課題研究実績（総合的な学習（探究）の時間の成果や卒業研究・制作等を含む）
③課外活動、生徒会活動、ボランティア活動等（役職がある場合は記載すること）
④各種資格取得、表彰の実績（英語の民間試験成績も含む）
⑤その他、本学科の教育研究内容に関連した活動

【第2次選考】

第1次選考に合格した者に対して、個別審査を課します。個別審査では、模擬講義等の受講、それにもとづくレポート作成及び個人面接を課し、志望する学科のアドミッション・ポリシーに基づいて、それにかかわる学問への関心、思考力、表現力、主体性や協働性を評価します。

実施方法は次のとおりです。

学 科	実 施 方 法
森林緑地環境科学科	<ul style="list-style-type: none"> • 模擬講義等の受講（60分）及びレポート作成（45分） 森林緑地環境科学に関する模擬講義等を受講し、その後、提示する課題について800字以内でレポートを作成してもらいます。模擬講義等の受講及びレポート作成は2回行います。 • 個人面接（1人当たり20分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 面接では、レポート内容に基づく質疑及び討論を行います。また、出願書類を基に質問します。
海洋生物環境学科	<ul style="list-style-type: none"> • 模擬講義等の受講（60分）及びレポート作成（45分） 海洋生物環境学に関する模擬講義等を受講してもらいます。その後、提示する課題についてレポートを作成してもらいます。 • 個人面接（1人当たり20分程度） 複数の教員で受験者1人ずつ面接を行います。 面接では、レポート内容及び高校での活動等についての質疑を行います。また、出願書類を基に質問します。

Ⅱ. 選考日時、試験場及び携行品等

【第1次選考】

書類選考のためのため、試験は実施しません。

【第2次選考】

- ア. 選考日時 令和5年10月9日（月）、10日（火） 午前10時から
※詳しくは、第1次選考結果通知の際にお知らせします。
- イ. 試験場 宮崎大学農学部（木花キャンパス）
宮崎市学園木花台西1丁目1番地 Tel：0985-58-3834
- ウ. 集合時刻 午前9時30分
- エ. 携行品 ①宮崎大学入学試験受験票（総合型選抜）
②筆記用具

(2) 各学部の配点及び合格判定基準

教育学部

I. 配点

学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻（宮崎県教員希望枠）

	書類審査	面接	課題探究型学習に関する口頭試問		小論文	合計
第1次選考	300					300
第2次選考		300	プレゼンテーション	質疑応答	200	900
			100	300		
合計	300	300	400		200	1200

学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻

	書類審査・面接①	面接②	各教科の定める個別審査	小論文	合計
第1次選考	200		400		600
第2次選考		200		400	600
合計	200	200	400	400	1200

II. 合格判定基準

○学校教育課程小中一貫教育コース小学校主免専攻（宮崎県教員希望枠）

【第1次選考】

第1次選考の得点（300点満点）により順位付けを行い、原則として下記のいずれにも該当する者を合格者とします。

- 1 募集人員の約3倍以内の順位の者
- 2 得点が5割以上の者

なお、同点の場合には、同順位とします。

【第2次選考】

総合得点（1200点満点）により順位付けを行い、合否を決定します。

なお、総合得点が同点の場合には、下記により順位付けを行います。

- 1 書類審査、面接及び課題探究型学習に関する口頭試問の合計得点が高い者
- 2 課題探究型学習に関する口頭試問の得点が高い者

○学校教育課程小中一貫教育コース中学校主免専攻

【第1次選考】

第1次選考の合計得点（600点満点）により順位付けを行い、原則として下記のいずれにも該当する者を合格者とします。

- 1 各教科とも募集人員の約5倍以内の順位の者
- 2 音楽・美術：合計得点が5割以上の者
保健体育：合計得点が4割以上の者

なお、合計得点が同点の場合には、同順位とします。

【第2次選考】

総合得点（1200点満点）により順位付けを行い、合否を決定します。

なお、総合得点が同点の場合には、下記により順位付けを行います。

- 1 本学が実施する、書類審査・面接①、面接②及び各教科の定める個別審査の合計得点が高い者
- 2 各教科の定める個別審査の得点が高い者

工 学 部

I. 配点

	書類審査 (調査書・自己推薦書・活動報告書)	小論文・筆記試験・個人面接	合計
第1次選考	100		100
第2次選考	100	400	500

II. 合格判定基準

【第1次選考】

第1次選考の合計得点（100点満点）により順位付けを行い、合否を決定します。合計得点が同点の場合には、同順位とします。

第1次選考の合格者数の上限は、各プログラムとも募集人員の3倍程度とします。

【第2次選考】

本学が指定する教科・科目をすべて受験しなければ、第2次選考の合否判定の対象となりません。

第2次選考の合計得点（500点満点）で順位付けを行い、合否を決定します。

なお、合計得点が同点の場合には、『小論文・筆記試験・個人面接』の点数の高い方から順位付けを行います。

I. 配点

	書類審査			模擬講義等の受講 及びレポート作成	個人面接	合計
	調査書	自己推薦書	活動報告書			
第1次選考	20	50	30			100
第2次選考	10			50	40	100

II. 合格判定基準

【第1次選考】

第1次選考の合計得点（100点満点）により順位付けを行い、合否を決定します。合計得点が同点の場合には、①自己推薦書、②活動報告書、③調査書の点数の高い方から順位付けを行います。

第1次選考の合格者数の上限は、募集人員の3倍程度とします。

【第2次選考】

本学が指定する個別審査をすべて受験しなければ、第2次選考の合否判定の対象となりません。

第1次選考の得点を10分の1にした点数と模擬講義等の受講及びレポート作成の得点及び個人面接の得点を合計した得点（100点満点）により、順位付けを行い、合否を決定します。

なお、合計得点が同点の場合には、①模擬講義等の受講及びレポート作成、②個人面接、③書類審査の点数の高い方から順位付けを行います。

7. 受験上の注意事項

(1) 試験前日までの注意事項

- ① 試験場については、第1次選考日（教育学部のみ）及び第2次選考日の試験日前日の午後に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。（農学部の第2次選考については、10月6日（金）の午後から掲示します。）ただし、建物に立ち入ることはできません。
- ② 重要なお知らせ等がある場合は、以下の本学ホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。
URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>
- ③ 天候や交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することの無いよう、万全の準備を行ってください。

(2) 試験当日の注意事項

- ① **本学の受験票を必ず持参**してください。
- ② 指定された時間までに指定された集合場所にて待機してください。
また、やむを得ない事情で遅刻する場合は必ず以下へご連絡ください。
・教育学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-2891
・工学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-2874
・農学部試験場：教務・学生支援係 TEL：0985-58-3834
- ③ 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ④ 受験票に記載の「受験にあたっての注意事項」を必ず確認してください。
- ⑤ 机の上には、受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの及びナイフ類を除く。）、直線定規（分度器機能付及び三角定規は不可。線引用のもののみ可）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの（それらの機能の有無が判別しづらいものを含む。）、秒針音のするもの、キッチンタイマー及び大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、

目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）以外の所持品を置いてはいけません。

- ⑥ 試験室では監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は、不正行為となることがあります。また、試験時間中に用があるときは手を挙げてください。
- ⑦ 試験中の退室はできません。ただし、体調不良等の場合は一時退室を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ⑧ 試験中は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用してはいけません。また、これらの電子機器類は電源を切り、かばん等に入れ、身につけないでください。身につけていたり、手にもっている場合、不正行為となることがあります。
- ⑨ 試験中に使用してはいけない電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームは設定を解除してください。

(3) チャットボットについて

本学ホームページ (<https://www.miyazaki-u.ac.jp/>) のトップ画面に「もうくんチャットボット」が表示されます。「受験生向けQ&A」には過去の受験生からの質問に対する回答を掲載していますので、ご確認ください。

8. 不正行為について

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とします。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

- ① 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の登録や記入（出願登録時に本人以外の写真を貼ることや解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
- ② カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- ⑦ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑧ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ⑨ 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

- (2) 上記（1）以外にも、次のことをすると不正行為となる場合があります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、（1）と同様です。

- ① 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

9. 合格者発表

(1) 下記の日時から本学ホームページ (<https://www.miyazaki-u.ac.jp>) に合格者の受験番号を掲載し、下記の書類を送付します。

【第1次選考】

学 部	日 時	送 付 物
教育学部	令和5年 11月1日(水) 10時	合格者には第1次選考合格通知書及び第2次選考試験日程通知書を送付します。
工学部及び農学部	令和5年 9月15日(金) 10時	合格者には第1次選考合格通知書及び第2次選考試験日程通知書を送付します。 不合格者にはその旨の通知と検定料一部返還手続きの書類を送付します。

【第2次選考】

学 部	日 時	送 付 物
教育学部	令和5年 12月8日(金) 10時	合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。
工学部及び農学部	令和5年 11月1日(水) 10時	合格者には合格通知書を送付します。入学手続書類については「11. 入学手続等」(29ページ)を参照してください。

- (2) 合格者の発表は、合格者本人宛に発送する『合格通知書』が正式なものとなりますので、必ず『合格通知書』で確認してください。
- (3) 合格者発表に関する電話等の照会には一切応じません。
- (4) この総合型選抜では、本学で学ぶために必要不可欠な資質を評価・審査します。そのため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

10. 他の選抜への出願等について

本学の総合型選抜は、合格した場合に入学することを確約する入試となっております。このため、合否結果が判明するまでは、本学を含む国公立大学・学部等の学校推薦型選抜、総合型選抜に出願することはできません。ただし、結果が不合格だった場合には、一般選抜を含め合格者発表日以降の出願受付の入試区分に出願できます。

11. 入学手続等

(1) 入学手続関係書類の送付

教育学部の合格者には、第2次選考の合格者通知書と併せて送付します。
工学部及び農学部の合格者には、令和5年12月中旬に送付します。

(2) 入学手続期間

令和6年2月19日（月）まで（17時必着）

上記期日までに入学手続きを完了しない者は、総合型選抜合格者としての権利が消滅します。
原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

(3) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

(4) 納入金

① 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

①入学料を払い込んだが、入学手続をしなかった場合

②入学料を誤って二重に払い込んだ場合

※返還にかかる手数料は、原則、納入者の負担とします。

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は、初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は、10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ

(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/campus/fees/jugyou/>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(5) 入学手続の際に提出を求める書類等

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票を提出してください。

(6) 高等教育の修学支援新制度

令和2年度から新設された制度で、以下の2つの支援からなります。

- ・日本学生支援機構の給付奨学金（原則返還不要）
- ・入学料・授業料の免除又は減額

対象：住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生（留学生や大学院生は対象外）

※申込資格や選考基準（収入や成績の基準）は以下のサイトを確認ください

日本学生支援機構（給付奨学金：申込資格や選考基準）

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/shikaku/zaigaku.html#kakei>

(7) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は一部を免除することがあります。

- ① 令和6年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
- ② 令和6年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
- ③ 入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合
※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限り
(6)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。
※③の対象となる災害については、令和6年2月中旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。

(8) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することができます。

- ① 令和6年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
- ② 令和6年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
- ③ 経済的理由により入学料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合
- ④ 入学前1年以内において本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ⑤ 入学前1年以内において本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ⑥ 上記④⑤に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合
※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限り。
(6)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。

(9) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当し、授業料の納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

- ① 令和6年度日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者 *高等教育修学支援新制度
- ② 令和6年度日本学生支援機構の給付奨学金申込み予定者 *高等教育修学支援新制度
- ③ 本人若しくは本人の学資を主として負担している者が大規模災害に被災した場合
※②については、日本学生支援機構給付奨学生の申込資格・選考基準を全て満たしている者に限り
(6)に掲載の日本学生支援機構サイトでご確認ください。
※③の対象となる災害については、令和6年2月上旬頃に本学学生支援関係HP上で通知予定。

高等教育修学支援体制、入学料免除・徴収猶予、授業料免除に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係HP ※最新情報は以下のサイトをご参照ください

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/school-and-admissionfee/>

(10) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活発化を促し優秀な人材の輩出を図ることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課

電話：0985-58-7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

本学学生支援関係HP ※最新情報は以下のサイトをご参照ください

<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/scholarship/>

(11) 教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の教養教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続き時に再度ご案内いたします。

(12) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して教育研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内にいる間、並びに通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、全員加入することをお願いしています。また、「学研賠」は、加入者が教育研究活動中に他人にケガを負わせた場合や、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続き書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課
電話：0985-58-7976、7140（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(13) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生は除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲載する「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。また、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる学生寄宿舍入居申請要項の請求について

本学学生支援関係ホームページの学生寮のページ

(<https://www.miyazaki-u.ac.jp/manabi-jim/campus-life-info/campus-life/dormitory/>) をご覧ください。

② 学生寄宿舍入居申請要項の請求

ア 請求方法：返信用封筒（角形2号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、140円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項（総合型選抜）請求」と朱書の上、請求してください。

イ 請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学び・学生支援機構学生支援課
電話：0985-58-7142

ウ 請求期限：令和6年1月4日（木）

③ 学生寄宿舍の概要

寄 宿 舎 名	男 子 寄 宿 舎	女 子 寄 宿 舎	国 際 交 流 宿 舎
収 容 定 員	100人	100人	165人
募 集 人 員	5人	5人	5人
入 居 資 格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（令和6年4月～令和7年3月） ※4年間を保証するものではありません。		
寄 宿 料	月額 7,000円		月額 4,700円
構 造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居 室 定 員	1人（個室）		
居 室 面 積	9㎡	9㎡	11㎡
共 用 施 設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舎は居室に設置）		
諸 経 費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所 在 地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

（注1）募集人員には、学校推薦型選抜合格者、総合型選抜合格者、帰国生徒選抜合格者、社会人選抜合格者及び編入学試験合格者が含まれます。

（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。

（注3）建物内及び周辺に喫煙場所はありません。

12. 入学手続に関する注意事項

総合型選抜の合格者は、その趣旨からみて入学手続を行い入学するのが当然ですが、特別の事情があり、合格者本人が令和6年2月19日（月）17時までに「入学辞退願」を本学学長に提出し、その承認を得た場合に限りその入学辞退を認めます。

「入学辞退願」を提出して当該大学の入学の辞退を承認されない限り、本学又は他の国公立大学・学部を受験しても、その国公立大学・学部の合格者とはなりません。

13. 個人情報の取扱いについて

- （1）個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。
- （2）出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- （3）入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。
- （4）上記（2）及び（3）の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より該当業務の委託を受けた業者において行うことがあります。
- （5）国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報等に限り、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知されます。
- （6）出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

14. 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、募集単位（学科、課程、コース、プログラム等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示します。

記

1. 開示請求者

本学が実施した令和6年度入学試験を受験した者

2. 開示請求の方法

インターネット出願登録サイト上で、出願登録時に「個人成績開示請求」の欄を「希望する」と選択してください。

※個人成績開示請求は出願手続の際に行う必要があります。

3. 開示請求期間

- (1) 教育学部 令和5年9月19日（火）から9月27日（水）
- (2) 工学部及び農学部 令和5年8月25日（金）から9月5日（火）

4. 開示情報の内容

総合得点による順位

5. 開示期間

令和6年5月15日（水）から6月14日（金）

6. 開示の方法

個人成績開示をオンライン上で実施します。

開示期間中は専用サイトに受験番号・生年月日・パスワード（インターネット出願登録時のセキュリティコード）でログインの上、個人成績を確認できます。詳細は令和6年4月下旬頃下記に掲載します。

個人成績開示案内URL：<https://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/admission/disclosure.html>

7. 開示請求手数料

1 選抜ごとに800円を徴収します。入学検定料の支払い時に併せてお支払いください。

8. その他の注意事項

- (1) 開示期間を過ぎての開示請求は原則受け付けません。
- (2) 郵送、電話、メール及び学び・学生支援機構入試課の窓口での開示請求については受け付けません。
- (3) 既納の開示請求手数料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ア 入学検定料を払い込んだが出願しなかった場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合
 - イ 入学検定料と開示請求手数料を誤って二重に払い込んだ場合に、入学検定料の返還請求と同時に返還請求をした場合

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

宮崎大学学び・学生支援機構入試課
電話：0985-58-7138

15. 統計資料

令和5年度（2023年度）宮崎大学総合型選抜実施状況

学部	学科等	募集人員	志願者		受験者		合格者		入学者	
			総数	倍率	総数	(女子)	総数	(女子)	総数	(女子)
教育学部 学校教育課程	小中一貫教育コース	8	17	2.1	17	(10)	8	(7)	8	(7)
	中学校主免専攻(音楽)	8	2	2.1	2	(2)	2	(2)	2	(2)
	中学校主免専攻(美術)		2		(1)	2	(1)	2	(1)	
	中学校主免専攻(保健体育)		13		(7)	4	(4)	4	(4)	
工学部	工学科	40	102	2.6	102	(14)	40	(8)	40	(8)
	応用物質化学プログラム	6	9	1.5	9	(2)	6	(1)	6	(1)
	土木環境工学プログラム	7	21	3.0	21	(5)	7	(3)	7	(3)
	応用物理工学プログラム	5	6	1.2	6	(2)	5	(2)	5	(2)
	電気電子工学プログラム	5	13	2.6	13	(1)	5	(1)	5	(1)
	機械知能工学プログラム	8	28	3.5	28	(1)	8	(0)	8	(0)
	情報通信工学プログラム	9	25	2.8	25	(3)	9	(1)	9	(1)
農学部	森林緑地環境科学科	3	11	3.7	11	(4)	3	(2)	3	(2)
	海洋生物環境学科	3	11	3.7	11	(2)	2	(2)	2	(2)
合計		54	141	2.6	141	(30)	53	(19)	53	(19)

※ 受験者は、第2次選考を受験した人数。

宮崎大学 位置図



木花キャンパスへの交通アクセス (教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部)

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁目1番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」→「橋通り」→「宮交シティ」→「宮崎大学」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約10分
 ○JR清武駅から：約15分 ○JR南宮崎駅から：約25分

清武キャンパスへの交通アクセス (医学部)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200番地

【宮崎交通バスを利用する場合】「宮崎大学・大学病院」行に乗車
 「宮崎駅」→「橋通り」→「宮交シティ」→「大学病院」停留所にて下車
 (約45分) (約40分) (約30分)

【タクシーを利用する場合】
 ○宮崎空港から：約20分 ○JR木花駅から：約15分
 ○JR清武駅から：約10分 ○JR南宮崎駅から：約25分

各種問い合わせ先

入試全般	学び・学生支援機構入試課	0985-58-7138
入学手続	学び・学生支援機構総務係	0985-58-7427
授業料納入	財務部財務課	0985-58-7122
授業料免除	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7976
奨学金	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7140
学生寄宿舍	学び・学生支援機構学生支援課	0985-58-7142

宮崎大学の入試に関するお問い合わせ先

宮崎大学学び・学生支援機構入試課

〒889 - 2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
電話 0985-58-7138
ホームページ <https://www.miyazaki-u.ac.jp/>



宮崎大学ホームページに表示されるチャットボットもご利用ください。多くの質問に対応しております。土日、夜間でもご利用いただけます。

【利用方法】

質問したい事項をメニューから選択するか、質問やそのキーワードを文字で入力いただくとAI（人工知能）が自動回答します。